

職員給与などの状況

問い合わせ 秘書課 ☎227-6022

市職員の部門別職員数や給与などをお知らせします。

部門別職員数（各年4月1日現在）

	令和5年度	令和6年度
一般行政部門	270人	264人
特別行政部門(教育委員会)	42人	43人
公営企業等特別会計部門	33人	33人
合計	345人	340人

※職員数は、一般職に属する正規職員数です。

人件費（令和5年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 (令和6年3月末現在)	54,038人
歳出額(A)	214億 477万4千円
人件費(B)	28億9678万5千円
人件費割合(B/A)	13.5%

※市一般会計歳出額とは異なる場合があります。

職員給与費（令和5年度普通会計決算）

職員数(A)	306人
給与費(B)	15億5802万1千円
給料	9億9456万9千円
職員手当	1億6300万3千円
期末・勤勉手当	4億 44万9千円
一人当たりの給与費(B/A)	509万2千円

職員の平均年齢,平均給料月額,平均給与月額
(令和6年4月1日現在)

	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	41.4歳	313,100円	365,000円
技能労務職	53.1歳	285,500円	290,800円

期末・勤勉手当（令和5年度）

■平均支給額141万5千円

	支給割合
期末手当	2.45月分(1.375月分)
勤勉手当	2.05月分(0.975月分)

※（ ）内は、再任用職員に係る支給割合。
※支給割合は、国と同じ。

特殊勤務手当（令和5年度）

支給実績	100万1千円
支給職員一人当たり平均支給年額	3,927円
職員全体に占める手当支給職員の割合	78.5%
手当の種類（手当数）	9種類

退職手当（令和6年4月1日現在）

年数	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575月分	47.709 月分

※支給割合は国と同じ。

ラスパイレス指数

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
野々市市	98.6	99.0	98.6	96.6
全国市平均	98.9	98.8	98.7	98.6
類似団体	98.3	98.2	98.3	98.3

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数。
※類似団体とは、人口および産業構造が似通った他の市町村。

令和5年度決算の詳細は
市ホームページで
確認できます。



将来都市像

かがやき無限大 みんなてつくろ インパクトシティののいち

コンパクトな市域に詰まった魅力を
市民の皆さんと磨いていくことで、
多くの人に大きなインパクトを与え
られる「かがやきあふれる野々市市」
を目指しています。

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	41億6717万7千円	41億6710万3千円
後期高齢者医療	6億3397万3千円	6億3205万2千円
介護保険	31億5368万6千円	30億6051万6千円
墓地	5852万6千円	5360万0千円

企業会計

会計名		収入	支出
水道	収益的収支	9億1122万7千円	8億923万1千円
	資本的収支	1億2874万5千円	3億9453万7千円
公共下水道	収益的収支	12億3777万2千円	12億4144万3千円
	資本的収支	6億8485万5千円	11億4333万6千円

用語の説明

一般会計

市の基本的な行政サービスを行う会計

特別会計

一般会計から切り離して収入・支出を
経理する、特定の目的のための会計

企業会計

地方公営企業法によって定められた水
道事業の会計方式

歳入・歳出

市の1年度内の収入・支出

国庫（県）支出金

国（県）の特定事業に対し、国（県）
から交付されたお金

市債

国などから借入れたお金

繰入金

基金などから繰り入れたお金

繰越金

前年度から繰り越したお金

納税の伸びが好調で、寄附金
が前年度から3千万円増加し
1億2千万円になりました。
「歳出」国の物価高対策として
実施した物価高騰支援給付金に
4億8千万円を支出したほか、
18歳までの子ども医療費を無償
化した子育て支援医療費助成に
2億5千万円、令和6年能登半
島地震の避難者支援・被災地支
援に係る経費として2千万円を
支出しました。また、令和6年
度に完了予定の布水中学校増築
事業に3億6千万円を支出しま
した。

今後も、市民の皆さんが「住
み続けたい」と考えるよう、ま
た、持続可能な野々市であり続
けられるよう、財政運営を行っ
ていきます。

令和5年度決算報告

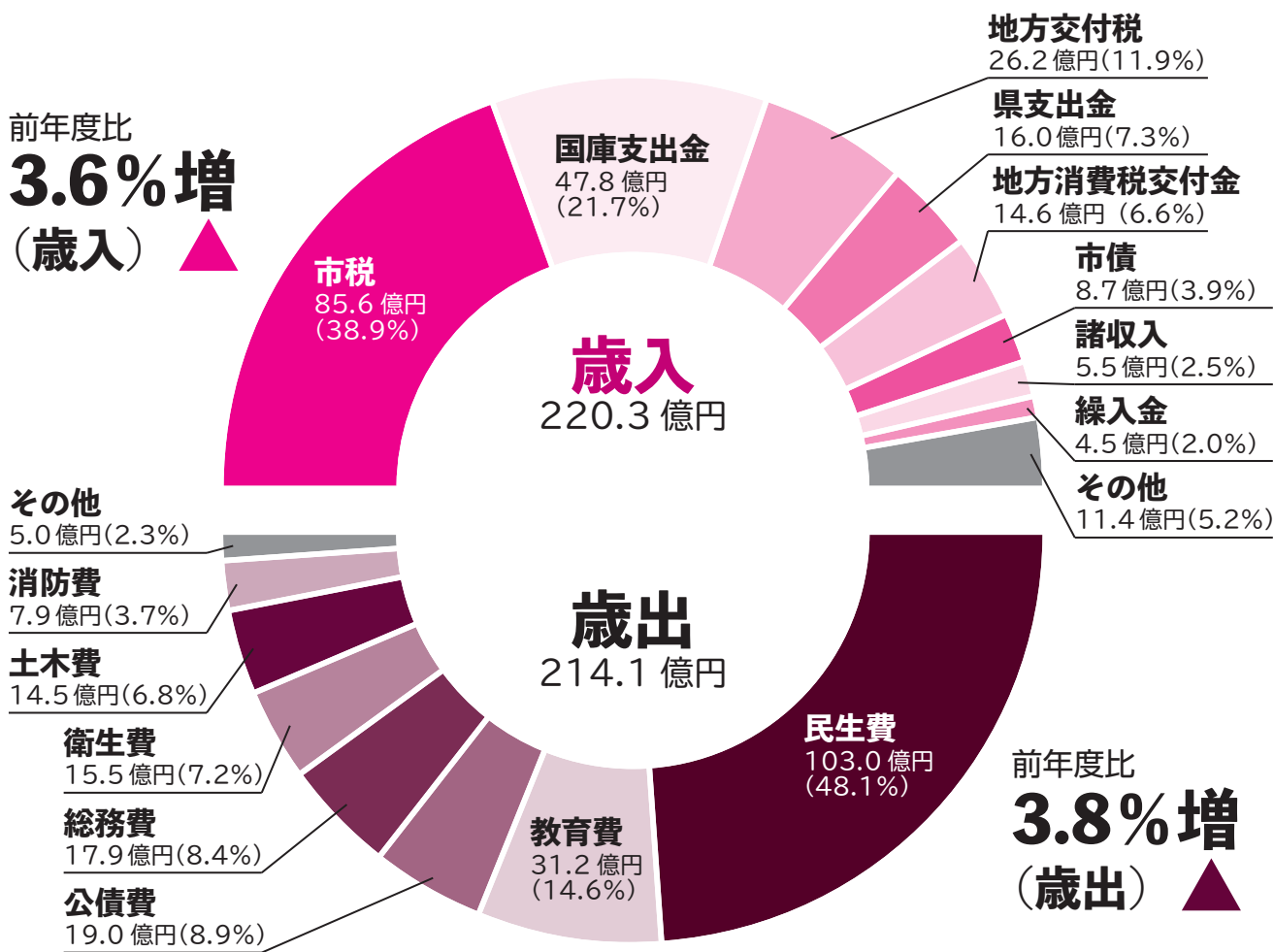
一般会計歳出額は

214億617万1千円

令和5年度、野々市市にどのくらいの収入があり、どのように使われたのか。
決算の概要についてお知らせします。

一般会計

※金額は表示単位未満を端数処理しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。



実質収支が4億6千万円の黒字！

令和5年度決算は、歳入が歳出を6億2千万円上回り、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は4億6千万円の黒字となりました。

「歳入」市税が、経済状況の緩やかな回復による個人市民税や固定資産税の増により、1億9千万円増加し85億6千万円になりました。また、地方交付税では公共施設の光熱費高騰への対応による加算や国税収入の上振れに伴う追加交付などにより、2億4千万円増加し26億2千万円になりました。その他、返礼品を伴うふるさと

その他の内訳

歳入	
繰越金	3億7422万5千円
利子割等交付金	2億4018万1千円
地方譲与税	1億4804万 円
寄附金	1億1607万7千円
使用料及び手数料	9736万9千円
分担金及び負担金	8882万6千円
財産収入	4465万5千円
環境性能割交付金	2288万4千円
交通安全対策特別交付金	703万6千円
歳出	
議会費	2億 968万5千円
商工費	1億7642万1千円
農林水産業費	9429万8千円
労働費	1938万2千円